

流用

ちょっと  
拝見

となりの

DAMカート

色ベタ  
+  
スミ40%

島根大学医学部附属病院の巻

30a新ゴM

38a新ゴM

50a新ゴB



0.5ミリケイ  
スミ20%

142ミリ  
102ミリ

×55ミリ  
Y68ミリ

×23ミリ  
Y214ミリ

0.3ミリケイ・色ベタ+スミ40%

37ミリ  
166ミリ

白マド

色ベタ+スミ40% 基本情報 15a ロダ>B 20H

手術室 12 室に対して DAM カート 1 台

W 60 cm × D 40 cm × H 80 cm

麻酔科記録室の斜め前、術後回復室の近くの、救急カート横に配置。

DAM カートを運ぶのに、2 室の増築された手術室までは 1 分 44 秒、それ以外の 10 室には 10 ~ 30 秒以内。

気管支ファイバースコープとモニターは、それぞれ別々に配置している。

情報提供 島根大学医学部附属病院 本岡 明浩

指定外は 11a 新ゴR 1234 ● LISA VOL.11 NO.1 2004-1

14a  
新ゴB

色ベタ+スミ40% 文房  
白マド  
142ミリ

13a  
ロダ>DB  
20H



ちょっと拝見◆となりのDAMカート

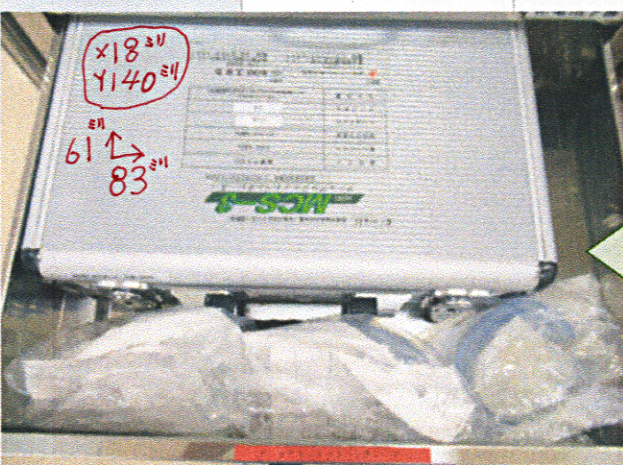
上面

- 気管挿管用イントロデューサ (8 Fr, 35 cm)
- エアウェイスコブ (AWS) (本体)
- McGRATH™ MAC 本体 (2個)、ブレード (#2/#3/#4, 各2個)
- McGRATH バッテリー
- ドクターフォッグ (9個)
- VBM ブロンコスコープパイプブロック (#2)
- キシロカイン®スプレー
- カフ圧計
- 輪状甲状膜切開キット
- ダムス チューリップ-アイ (2個入り2箱)



引き出し1段目

- AWS イントロック (成人用2個、小児用 PL 1個・NL 1個)
- 予備の乾電池 (単2:2個、単3:8個、単4:6個、CR 132:2個)
- 剪刀
- ペアン鉗子 (曲型2個、直型1個)
- 経口エアウェイ (80/100 mm)
- メス (3本)
- MELKER 輪状甲状膜切開用カテーテル



引き出し2段目

- マニュアルジェットベンチレータ
- エンドスコーピマス

引き出し3段目

- 経鼻エアウェイ (#7/#8)
- Microcuff 気管チューブ (4.0/4.5/5.0/5.5 mm)
- Parker 気管チューブ (6.0/6.5 mm)
- ラリンジアルマスクプロシール (#3/#4/#5)
- LMA ファーストラック (#4/#5)、チューブ (7.0/8.0 mm)
- McCoy 喉頭鏡 (ハンドル、ブレード (#3/#4))
- 黄色シリンジ (10 mL × 2個, 20 mL × 1個, 14 G 留置針)
- 緑色シリンジ (10 mL × 2個, 20 mL × 1個, 14 G 留置針)



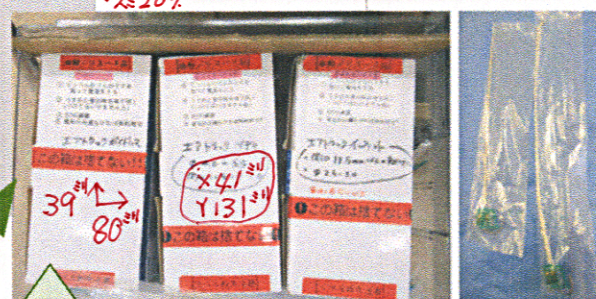
右側面

- トラキライト、スタイレット (成人用3本、小児用3本、乳児用2本)
- アーガイル気管切開チューブ (7.5/8.0 mm)
- i-gel® (#3/#4)



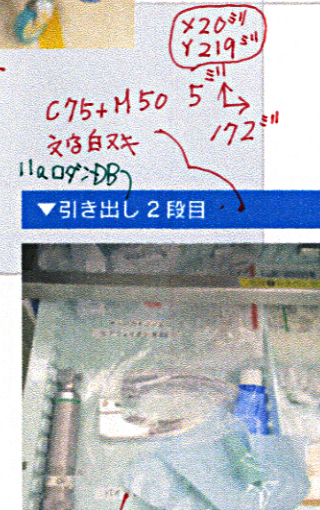
背面

- チューブエクステンジャー [14 Fr:3本 (ガムエラスティックブジ-と兼用), 11 Fr:2本]



最下段

- McGRATH MAC ブレード (#3:10本, #4:10本)
- Airtraq® (ベティ、インファント、ガイドレス)
- トラキライト (成人用6本、小児用2本、乳児用4本)



ちょっと拝見◆となりのDAMカート

コメント

DAMカートは救急カートの横に配置され、出動回数は2~3月に1回程度である。DAMカートの物品確認と補充は、外部委託の担当者が毎日チェックリストを用いて行っている。

気管支ファイバースコープとモニターが別々の場所に配置されているため、困難気道が事前に予想される場合は、DAMカートと、気管支ファイバースコープをセットであらかじめ準備している。また待機手術で困難気道症例の入室時間が重なる場合は、DAMカートではなく、i-gelや気管支ファイバーなどの必要物品を厳選してそれぞれ準備している。

McGRATH MACが全手術室の標準配備されるようになってからは、DAMカートの出動回数は激減した。それでもMcGRATH MACのバッテリー消耗やモニター画面の不良などの場合に備え、DAMカートの天板にはMcGRATH MAC本体2個、バッテリー3個、ブレード (#2/#3/#4) を各2個配置し、一番下にはブレード (#3/#4) を各10個、箱ごと配置するなど、あたかもMcGRATH MACの基地のような役目を果たしている。気管チューブの入れ替えが必要な症例などでもDAMカートが登場するが、最近ではチューブエクステンジャーと気管支ファイバースコープだけを用意することも増えた。

麻酔カート

- McCoy 喉頭鏡 ブレード (#3/#4)
- McGRATH MAC (本体、ブレード (#3/#4))
- 経口エアウェイ (80/100 mm)
- ラリンジアルマスクプロシール (#3/#4)
- マスクバンド
- バグバルブマスク

ちょっと拝見◆となりのDAMカート